

平成 26（2014）年度 事業計画書

自 平成 26（2014）年 4月 1日
至 平成 27（2015）年 3月 31日

公益財団法人 九州盲導犬協会

平成 26 年度 事業計画書
(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

《 公益事業部門 》

I. 盲導犬育成、貸与及び視覚障害者の生活訓練等を行う総合訓練センターの運営事業

1. 視覚障害者に対する盲導犬の貸与と生活訓練等の実施

(1) 盲導犬貸与について

盲導犬貸与希望者が満足できる盲導犬の貸与と共同訓練の実施に努める。6頭～8頭の盲導犬を視覚障害者に無償貸与する。

(2) 公正な盲導犬貸与

盲導犬貸与規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施する。

(3) 盲導犬使用者（以下、ユーザー）に対するフォローアップ

ユーザーからの年次報告などにより、貸与中の盲導犬の健康状態のチェックを行うと共に、安全で安心な歩行及び生活のサポートが出来るよう、引き続き全てのユーザーに対するフォローアップを実施する。

2. 犬の飼育および訓練

(1) 候補犬の訓練

今年度は30頭の候補犬に盲導犬としての訓練を実施する。

(2) 繁殖

今年度は30頭の仔犬を確保する。また AGBN（Asia Guide Dogs Breeding Network）加盟協会との繁殖協力の維持と発展に努める。

(3) パピーウォーキング

30頭の仔犬をパピーウォーカー（以下、PW）に飼育委託し、定期指導・飼育講習会及び巡回指導等により、仔犬の健康管理と PW に対する飼育指導を実施する。

(4) リタイア犬

リタイア犬飼育ボランティアと連携をはかり、リタイア犬の健康を管理する。

(5) 犬舎管理

犬舎の管理頭数は30頭～40頭を数えており、引き続き犬舎の衛生管理および犬舎にいる候補犬等の健康管理に努める。

3. 職員の技術向上

(1) 毎日の業務報告・連絡・相談等を通して課題の発見と解決により、訓練技術の向上に資する。

(2) 平成26年5月に日本で開催される国際盲導犬連盟のセミナーに、訓練センター職員4名を参加させると共に、全国盲導犬施設連合会主催のセミナーに職員を派遣する等技術及び知識の向上に努める。

(3) その他各種研修会に職員を派遣し自己研鑽を奨励する。

4. 行政、各種団体およびボランティア関係各位との関係づくり

(1) 各関係機関との情報交換を積極的におこない事業の円滑な運営に努める。

- (2) 盲導犬に対する医療特別措置について、各自治体をはじめ獣医師会および動物病院に継続しての支援と協力をお願いする。
- (3) 繁殖犬・パピー・リタイア犬ボランティア並びにキャリアチェンジ犬のオーナーとの連携を図る。
- (4) 平成26年4月に盲導犬等慰霊祭を開催する。

Ⅱ. 盲導犬を主体とした身体障害者補助犬の普及及び啓発事業

1. 視覚障害者に対する啓発普及活動

視覚障害者団体等のイベントに参加して、盲導犬との歩行の安全性をPR、体験歩行等を実施して盲導犬希望者を募るなど普及啓発に努める。

2. 盲導犬普及啓発街頭活動

盲導犬ユーザー、ボランティア各位の協力を得て、RKB ラジオまつり・各地区の国際ライオンズクラブ及び地域の団体等が主催する普及啓発イベント等に、積極的に参加し盲導犬を中心とした補助犬の受入れの理解と普及啓発に努める。

3. 実演・講演・体験歩行会の実施

小中学校における盲導犬総合学習に講師を派遣し、講演、実演、体験歩行会等を通じて補助犬の普及啓発を図る。

4. 総合訓練センター見学会

一般見学会を毎月1回行う（12月は除く）ほか、団体見学を積極的に受け入れ、一般市民に盲導犬及び身体補助犬法について啓発活動を継続して行う。

5. ホームページ及び協会報による広報活動

ホームページや協会報「ハーネス九州（福岡県共同募金会からの配分金をもとに、年2回発行）」等を通して補助犬に関する情報等を提供する。

6. 相談業務

相談担当職員を中心に行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者・ボランティア・一般市民からの苦情や相談に迅速に対応する。

《 管理部門 》

1. 法人運営について

理事会、評議員会を適時に開催し、健全な法人運営に努める。

2. 賛助会員について

個人賛助会員・マンスリー会員・法人賛助会員への新規加入の働きかけを行うとともに、会員には協会報等を通して協会事業への理解と継続的な支援をお願いする。

3. 募金箱について

新たな設置先の開拓を行うとともに、既設置先へ継続的な支援協力をお願いする。

4. ローコスト経営について

ローコスト意識を職員一人一人に徹底し、無駄な経費の削減に努める。